

組合ニュースNo.11

2019年 3月19日
佐賀大学教職員組合

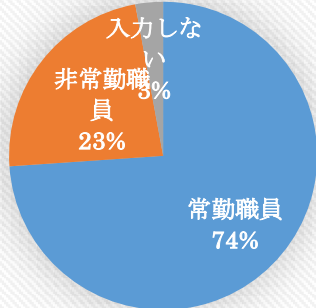
0952-22-9281/ 内線電話 2916/fax 0952-22-9286
E-mail:LDP03673@nifty.ne.jp <http://union-saga-u.my.coocan.jp>

**組合に入らなう！
あなたが組合を作り、組合
はあなたを守る**

組合アンケートへのご協力ありがとうございました。

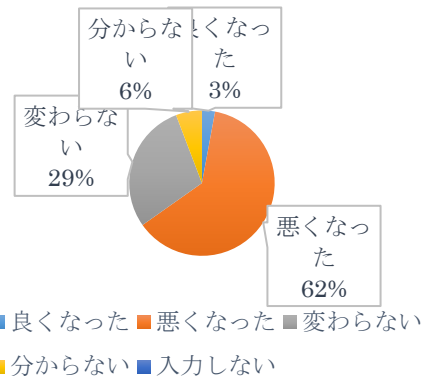
組合では、昨年12月から2月にかけて、職場環境などについて、ネットによる無記名アンケートを行い69名の方より回答をいただきました。ここに結果を紹介致します。

(1) あなたの立場を教えてください



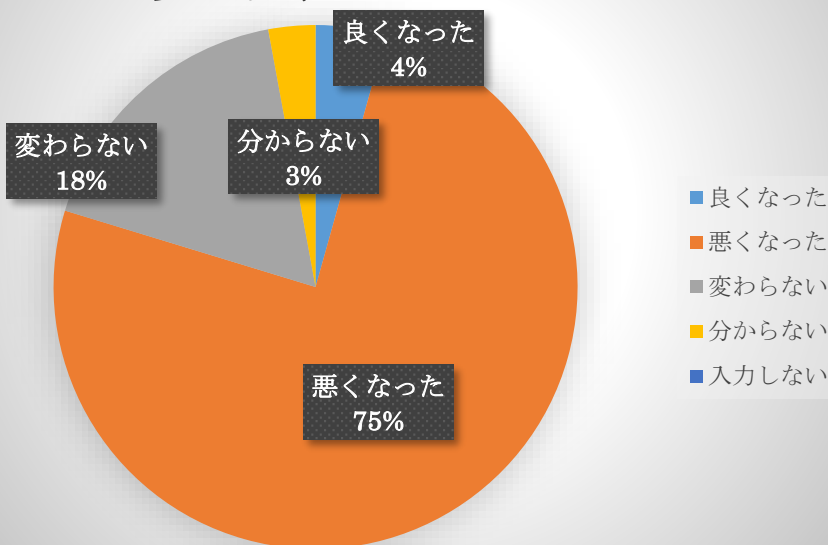
■ 常勤職員 ■ 非常勤職員 ■ 入力しない

(2) この数年間であなたの労働意欲は改善しましたか？



■ 良くなった ■ 悪くなった ■ 変わらない
■ 分からない ■ 入力しない

(3) この数年間であなたの職場環境は変化しましたか？



■ 良くなった
■ 悪くなった
■ 変わらない
■ 分からない
■ 入力しない

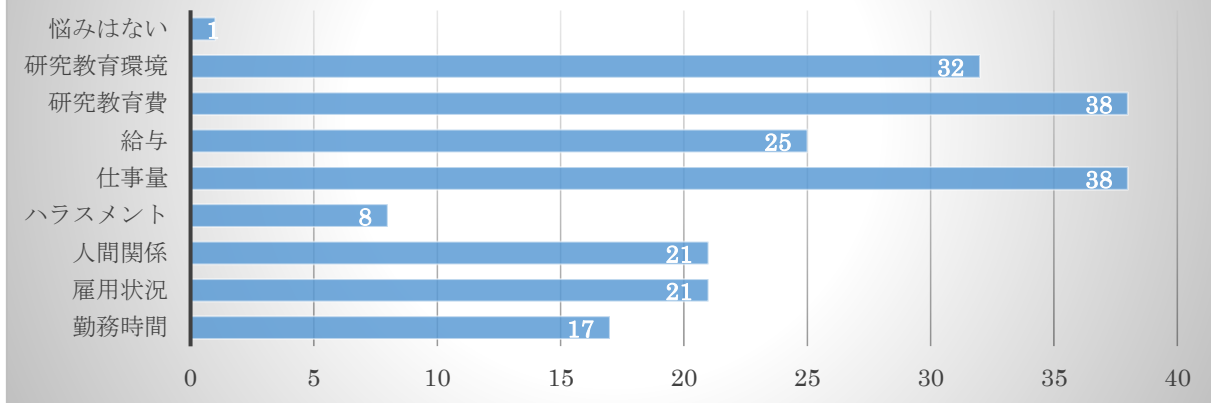
Q:どのように環境が変化したか、具体的に教えていただけますか？

47件の記述回答が寄せられました。一番多い変化は、「研究費削減の影響」という回答が11件あり、「研究費の大幅削減により学会・研究会に出席するための旅費がすべて自費となり年間40万円の出費となっている」「研究教育費の削減により月平均3~4万円は研究のために自腹を切る必要が出てきた」という回答が多く寄せられました。また、「仕事量は増えたのに人員は増えない」「教員数が激減し、非常勤講師の雇用も認められない中で学生への教育の質が大幅に低下」「学部内の自由な研究・教育活動への締め付け」「学部内の人間関係の崩壊」「大

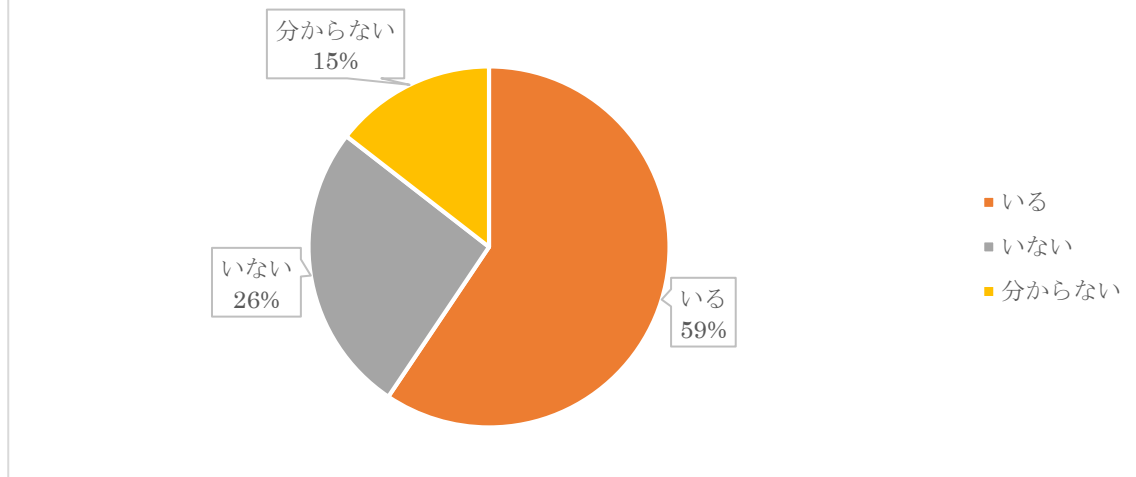
学執行部の意向を学部長がそのまま伝えるのみ。法人の意向を受け入れることが学部のためになるという説明による教員への圧力」などの記述も寄せられました。さらには、「精神的なストレスがとて大きくなった」「いじめの標的にされるようになった」「組織的なハラスメントが横行している」という心配な記述もありました。

職場での研究費減や人間関係の悪化やストレスに押しつぶされそうになりながらも必死に教育研究に踏ん張っている教職員の姿も浮かび上がります。

(4) 職場環境の悩みで当てはまるものすべてにチェックをお願いします。



(5) あなたの悩みを相談する相手はいますか？



Q組合へ期待することは？

チェック式組合アンケートは、5項目でしたが、このほかに組合へ期待することについて記述式の回答を43件いただきました。主な意見としては、「法人へ透明性を求め、法人と対峙して交渉して欲しい」ということでした。また、「組合員を増やして欲しい」という意見もありました。非常勤職員の待遇改善

の意見も多く、特に「非常勤職員の健康診断内容充実と給与の改善」「非常勤職員が責任を伴う仕事をしているので改善してほしい」「期限付き雇用をなくしてほしい」「有期雇用から無期雇用への変更」など、非常勤職員の具体的な要望の記述がありました。

<組合調査部のまとめ>

今回のアンケートでは、教員と職員の別や所属、年齢層などの質問項目を設けなかったため、全体の傾向を把握することしかできませんでしたが、多くの方がこの数年間で職場環境が悪くなったと感じていることが明らかになりました。

まず、労働環境や労働意欲について、悪くなった、意欲がなくなったという回答が半数以上を占め、悩みとして仕事量の増加や研究教育費の不足があげられていました。自由記述からは、職場での人間関係に関する悩みがこれらに付随して生じていることがわかります。また、給与や雇用状況に悩みを抱えている人も多く、組合としては、今後も、誰がどのような問題に直面しているのか、組合に何が期待されているのかを把握する工夫を続けていきたいと考えています。



退職者を送る会を開催！

一組合を支えていただきありがとうございました一

今年も長らく組合を支えていただいた組合員の皆さんが定年を迎えられます。

3月6日（水）に組合主催の「退職者を送る会」を開催致しました。

冒頭、4名の学生さんの合唱のプレゼントで始まりました。天使のような歌声に心が洗われるようだったとの多くの参加者から感想をいただきました。

ご退職の皆様からもたくさんの思い出を語っていただき、退職なさるお一人お一人に花束とささやかな記念品が渡されました。ご在職中の教職員組合へのご理解とご協力に感謝を申し上げます。

先輩の組合員が苦勞された成果が今の私たちに還元されていることを考える機会にもなりました。

ご退職の皆様のご多幸を心より祈念致します。

ありがとうございました。



教職員共済(教職員の任意保険)へ加入しましょう！

3月6日の昼休みに「教職員共済」の説明会が開催され、21名の教職員の皆さんにご参加いただきました。教職員共済大学事業所から森田事務局長が出席して、利潤追求ではない共済の有利さについて、非常勤職員でも加入できることや自動車共済は通勤時の事故の場合は、無事故歴がマイナスにならないことや、教職員と家族だけが加入できるので安心であるとの説明をいただきました。その他に、医療共済、生命共済、火災共済、総合共済、交通災害共済（レスキュースリー）などの紹介がありました。参加者からは、学生を伴う業務中の怪我の場合に支給されるのかどうか、退職後も続けられるのかどうかなどの質問があり、業務としての場合は、支給されることと、退職後は、総合共済以外は引き続き継続できると回答されました。

皆さん、この機会に非常勤職員を含める教職員だけしか加入できない教職員共済へご加入をご検討ください。大学事業所はこちら→ <http://www.daigaku-kks.jp/>